

※ Web 版史料募集は図書館・法人向けのサービスとなります。

JKBooks

Web 版

しりょうさんしゅう

第1期

古記録編

史料募集

平安・鎌倉・
南北朝(全43冊)

ジャパンナレッジで 2023 年 1 月配信開始

『史料募集』は日本の歴史・文化研究で必須の重要史料を、
使いやすく文字起こし(翻刻)した一大史料集成です。

学界最高水準のテキストを提供し、現在まで 266 冊を刊行しています。

(古記録編 214 冊、古文書編 52 冊。2023 年 1 月現在)



- 最新版を底本とし、新字体のフルテキストデータでの検索・閲覧を実現。
- 書籍紙面を画像表示、テキストデータはコピー・引用が可能。
- 年月日情報での検索・並べ替え、書名・時代別の検索を実現。
- 「群書類従」「国史大系」など他の JKBooks やジャパンナレッジ Lib 収録コンテンツと連携。多くの主要な史料集との同時一括検索が可能。

しりょうさんしゅう
Web版 史料纂集

購入のご案内

【2023年1月配信開始】

※特別価格での販売期間は
2023年1月～2025年3月31日

コンテンツ料金 (初回契約時のみ)

〔フルセット〕

第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝

特別価格：990,000円 (本体900,000円 + 税10%)

通常価格：1,100,000円 (本体1,000,000円 + 税10%)

〔分売〕

分売①：第1期 古記録編 平安・鎌倉

特別価格：495,000円 (本体450,000円 + 税10%)

通常価格：550,000円 (本体500,000円 + 税10%)

収録：吏部王記、権記1～3、台記1、明月記1、葉黄記1・2、
勘仲記1～6、公衡公記1～4、花園天皇宸記1～3

分売②：第1期 古記録編 南北朝

特別価格：495,000円 (本体450,000円 + 税10%)

通常価格：550,000円 (本体500,000円 + 税10%)

収録：園太暦1～7、師守記1～11、迎陽記1・2、
新訂増補兼宣公記1、兼宣公記2

※本サービスは、JKBooksとしてお申し込みが必要となります(ジャパンナレッジ Libには含まれておりません)。

※ご購入時に、プラットフォームを① Web版 史料纂集 古記録編 (平安・鎌倉・南北朝) の単独利用か、② ジャパンナレッジ Lib との統合、のいずれかをご選択ください。

① Web版 史料纂集 古記録編 (平安・鎌倉・南北朝) 単独利用の場合

年間システム利用料として、フルセットの場合は21,780円〔月額1,815円〕(税込)、分売の場合は10,890円〔月額908円〕(税込) 頂戴致します。同時アクセス数は4です。

② ジャパンナレッジ Lib との統合の場合

年間システム利用料はかかりません。同時アクセス数はジャパンナレッジ Lib に準じます。

※ジャパンナレッジ Lib の会員でないお客様は、登録および初期設定費用として入会費16,500円(本体15,000円 + 税10%、初回契約時のみ)と、年間システム利用料を頂戴いたします。詳細はお問い合わせください。

※動作環境については、ジャパンナレッジ Lib ウェブサイトにてご確認ください。

編集・刊行

八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8

Tel:03-3291-2961/Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/

配信・運営

NetAdvance

小学館グループ
株式会社ネットアドバンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-30 昭和ビル3F

Tel:03-5213-0872/Fax:03-5213-0876 b2b@japanknowledge.com

販売総代理店

紀伊國屋書店

株式会社紀伊國屋書店
デジタル情報営業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10

Tel:03-6910-0518/Fax:03-6420-1359 online@kinokuniya.co.jp

史料纂集の特長

1 多分野、多時代にわたる重要史料の一大集成

古代から近世まで、公家の日記から武士や僧侶の日記まで、古記録から古文書まで、さまざまな時代・ジャンルの重要史料を翻刻。

2 学界最高水準の最良のテキストを提供

史料纂集が提供する翻刻=テキストは、「大日本古記録」「大日本古文書」とともに、学界で最も信頼のおけるテキストとして評価される。

3 詳細な人名注・校訂注、標出を付し理解を深める

本文を読み込んで付した詳細な人名注・校訂注、内容を簡便に把握できる標出(頭注)を付す。これにより本文理解を深めることができる。

Web版の特長

1 書籍の紙面画像を表示、フルテキストデータを提供

最新版を底本とし、紙面を画像表示する。本文のフルテキストデータも提供。テキストは検索・コピーが可能。検索語はハイライトで表示。

2 新字による全文横断検索、他コンテンツとの連携検索

テキストは新字に統一しコピー・引用時の便宜を図った。「群書類従」「国史大系」「鎌倉遺文」など JKBooks*の他の書目との連携検索が可能。

*別途契約(ご購入)が必要。

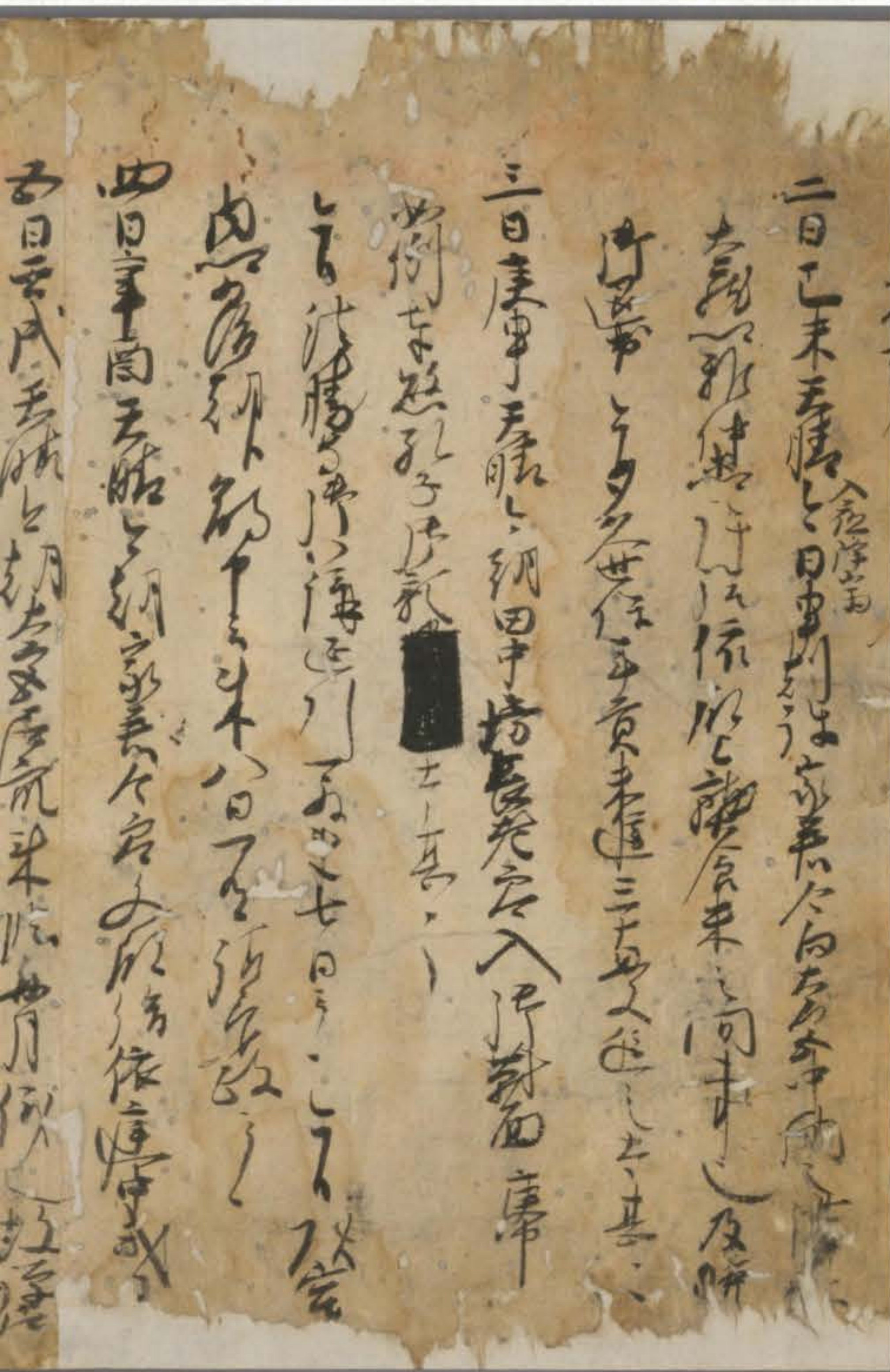
3 全文検索、年月日での絞り込み検索、書名別検索を実現

全文語句検索、書名別の検索が可能に。日記・古文書に年月日のデータを付しており、年月日での絞り込み検索も実現。

Web版史料纂集のイメージ

※師守記1の例

原史料



➡ 翻刻

史料纂集紙面

※ Web版では拡大・縮小して閲覧できます。

標出(頭注)で内容を要約

文殿庭中	久世保の年貢
八幡田中坊の長老来訪	孔子御影供
法勝寺八講延引	文殿庭中

師守記第一 曆應二年七月
二日、己未、天晴、入夜降小雨、今日申剋許、(師右)家君令向(四条)大宮中納言隆蔭卿・大藏卿(高階)雅仲等卿許給、依殿上糞食米之間事也、及晚御退出、今夕久世保年貢未進三十貫文進之、幸甚々々、
三日、庚申、天晴、今朝田中坊長老参入、御対面、庚申如例、奉懸孔子御影幸甚々々、今日法勝寺御八講延引、可為来七日云々、今日頭宮内卿(吉田)為治朝臣触申云、来八日可有請印政云々、
四日、辛酉、天晴、今朝家君令参文殿給、依庭中式日也
五日、壬戌、天晴、今朝大宮尼衆来臨、毎月儀也、故禪尼予祖母忌日也、
六日、癸亥、天晴、
七日、甲子、天晴、及晚夕立、被構風呂、節供如例、政所沙汰也、幸甚々々、
今日法勝寺御八講延引、上卿權中納言藤原隆蔭卿・弁右中弁平頼名朝臣・堂童子散位源業治、今度、權少外記中原利顯一善、右大史高橋景職等参向云、今日於陣可有僧名定由、頭宮内卿為治朝臣被觸申之處、不被行云、
八日、乙丑、天晴、今日御物詣如例、請印政延引、可為明日云々、
九日、丙寅、天晴、家君令参文殿給、依庭中也、今日請印政延引、可為十三日云々、
十日、丁卯、天晴、

➡ Web版テキストデータ

Web版では左記の紙面画像とフルテキストデータを提供!

[テキストデータ見本]
二日、己未、天晴、入夜降小雨、今日申剋許、(師右)家君令向(四条)大宮中納言隆蔭卿・大藏卿(高階)雅仲等卿許給、依殿上糞食米之間事也、及晚御退出、今夕久世保年貢未進三十貫文進之、幸甚々々、
三日、庚申、天晴、今朝田中坊長老参入、御対面、庚申如例、奉懸孔子御影幸甚々々、今日法勝寺御八講延引、可為来七日云々、今日頭宮内卿(吉田)為治朝臣触申云、来八日可有請印政云々、
四日、辛酉、天晴、今朝家君令参文殿給、依庭中式日也
五日、壬戌、天晴、今朝大宮尼衆来臨、毎月儀也、故禪尼予祖母忌日也、
六日、癸亥、天晴、
七日、甲子、天晴、及晚夕立、被構風呂、節供如例、政所沙汰也、幸甚々々、
(後略。実際には表示されます)

[標出]
久世保の年貢到来
八幡田中坊の長老来訪
孔子御影供
法勝寺八講延引
文殿庭中
(後略。実際には表示されます)

詳細な人名注・校訂注を付し最良のテキストを提供!

国立国会図書館デジタルコレクションより転載。
[師守記] 64 卷の内、卷1 (曆應二年自七月至九月)

第1期 平安・鎌倉・南北朝 収録予定書目

〔「平安・鎌倉」収録予定書目〕 ※2021年以後刊行の平安～南北朝時代の書目は「第6期 補遺」に収録予定です。

吏部王記 ^{りぶおうき} [1冊] 醍醐天皇の第四皇子・重明親王(906-954)の日記。儀式書・古記録などに引用される逸文の形で残存し、本書ではそれを集成し年月日順に配列した。〔収録〕延喜20年(921)～天曆7年(953)。

権記 ^{ごんき} [1～3の3冊] 藤原行成(972-1027)の日記。記主は実務官人・能書家として知られ、本日記は朝廷の政務・儀式の記述が主。撰関政治の実態を究明する上で不可欠。〔収録〕正暦2年(991)～寛弘7年(1010)。

台記 ^{たいき} [1の1冊] 藤原頼長(1120-56)の日記。記主は撰関家の出身であり、氏長者や左大臣を務め、保元の乱を首謀した人物。本日記は院政期の政治状況や朝廷儀式に詳しい。〔収録〕保延2年(1136)～康治2年(1143)。

明月記 ^{めいげつき} [1の1冊] 『新古今和歌集』の撰者・藤原定家(1162-1241)の日記。本日記は平安時代末期から鎌倉時代前期の朝廷・政治状況を研究する際に必須。〔収録〕明月記目録/治承4年(1180)～建久8年(1197)。

葉黄記 ^{ようこうき} [1・2の2冊] 後嵯峨上皇の執権として活躍した葉室定嗣(1208-72)の日記。本日記は後嵯峨院政の様子や院を中心とする諸公事・行事が克明に記され貴重。〔収録〕寛喜2年(1230)～宝治3年(1249)。

勘仲記 ^{かんちゅうき} [1～6の6冊] 広橋兼仲(1244-1308)の日記。本日記は13世紀後半を知る際に不可欠の史料である。〔収録〕文永11年(1274)～正応元年(1288)。※7・8の2冊は「第6期 補遺」に収録予定。

公衡公記 ^{きんひらこうき} [1～4の4冊] 左大臣まで昇進し関東申次を務めた西園寺公衡(1264-1315)の日記。本日記は公武間交渉、当時の公事の様子が記される。〔収録〕弘安6年(1283)～正和4年(1315) / 別記。

花園天皇宸記 ^{はなぞのてんのうしんき} [1～3の3冊] 持明院統に属する花園天皇(1297-1348)の日記。本日記は鎌倉時代末期の皇位継承の事情や文化を知る上で重要。〔収録〕延慶3年(1310)～正慶元年(1332)。

〔「南北朝」収録予定書目〕

園太暦 ^{えんたいりやく} [1～7の7冊] 北朝の重鎮である洞院公賢(1291-1360)の日記。本日記は南北朝時代を知る上で絶好の史料。〔収録〕応長元年(1311)～延文5年(1360)。※巻1～4は史料纂集シリーズではないが収録。

師守記 ^{もろもりき} [1～11の11冊] 中原師守の日記。中原家は局務に携わり大少外記を世襲する明経道の博士家。本日記は先例を多く引用し、南北朝時代を知る上で不可欠。〔収録〕暦応2年(1339)～応安7年(1374)。

迎陽記 ^{こうようき} [1・2の2冊] 北朝の後円融・後小松天皇の侍読を務めた学者・東坊城秀長(1338-1411)の日記。本日記は室町時代の政治・学芸を知る上での第一級史料。〔収録〕康暦元年(1379)～応永8年(1401)。

兼宣公記 ^{かねのぶこうき} [1・2の2冊] 武家伝奏として足利義満・義持期に活躍した広橋兼宣(1366-1429)の日記。〔収録〕至徳4年(1387)～応永31年(1424)。※1は新訂増補版。3は「第6期 補遺」に収録予定。

～続刊予定～

第2期 古記録編 室町・戦国①・②

経覚私要鈔、山科家礼記、師郷記、実隆公記など収録予定!

第3期 古記録編 室町・戦国③・④

第4期 古文書編①・②

第5期 古記録編 江戸①・②・③

第6期 補遺

テキストは**新字**に統一!

※旧字で検索することも可能です。

人名注・校訂注情報もテキストに反映。

テキストデータは**コピー・引用可能!**

日付ごとにタグデータを付し、**年月日別の検索を実現!**

※西暦・和暦での絞り込み検索が可能。

全文語句検索を行った場合はデータ上に検索結果をハイライト表示。

書名別、本文/標出/解説別、時代別の検索、各種複合検索も可能。

全文検索による新発見

書籍版では書名・収録時代を参考に、1頁ごとにめぐりお目当ての記事を探すのが一般的である。

例えば平安時代の研究者が「即位(式)」関連史料を探す場合、平安時代の吏部王記・権記・台記に関連記事が収録されていると予想できる。ところが、全文検索を行うと、明月記以下、中世の古記録も検索にかかり、中でも南北朝時代の園太暦・師守記には先例として平安時代の情報が含まれていることを発見することができた。

全文検索をすれば、書籍版ではほとんど見ることのなかった先例を発見し、新知見も導き出せるだろう。

Web 版史料募集の使い方

ステップ① 全文横断検索

「詳細（個別）検索」で「史料募集」を選択。目的の検索語句を入れて「検索」をクリック。

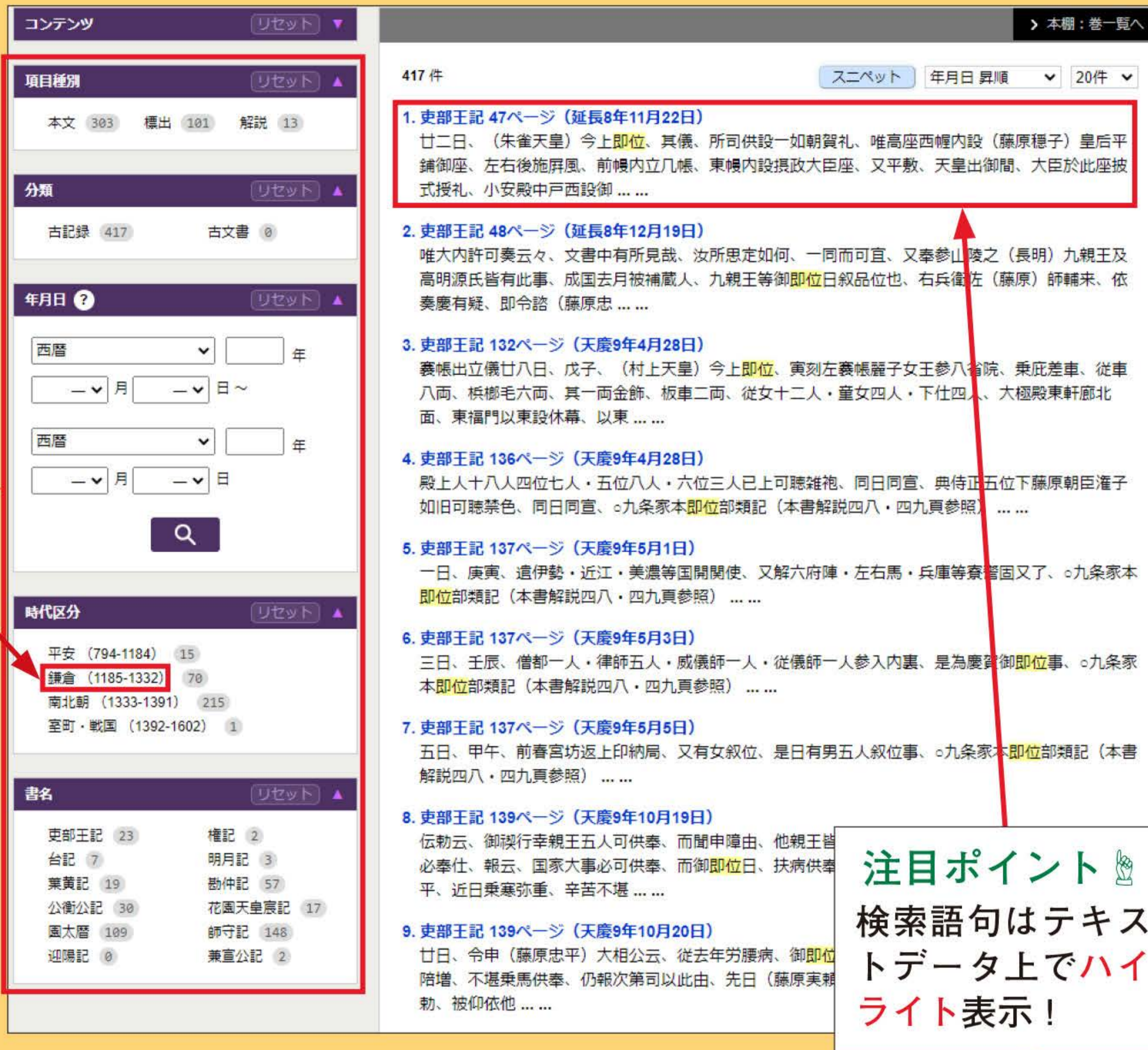
ジャパンナレッジLibと統合利用の場合は、「基本検索」で他の辞事典類とWeb版史料募集の収録書目を一括検索することができます。



ステップ② 検索結果表示

書名別や時代区分別、項目種別（本文／標出／解説）で検索結果を絞り込めます。西暦／和暦の年月日での絞り込み検索も可能です。

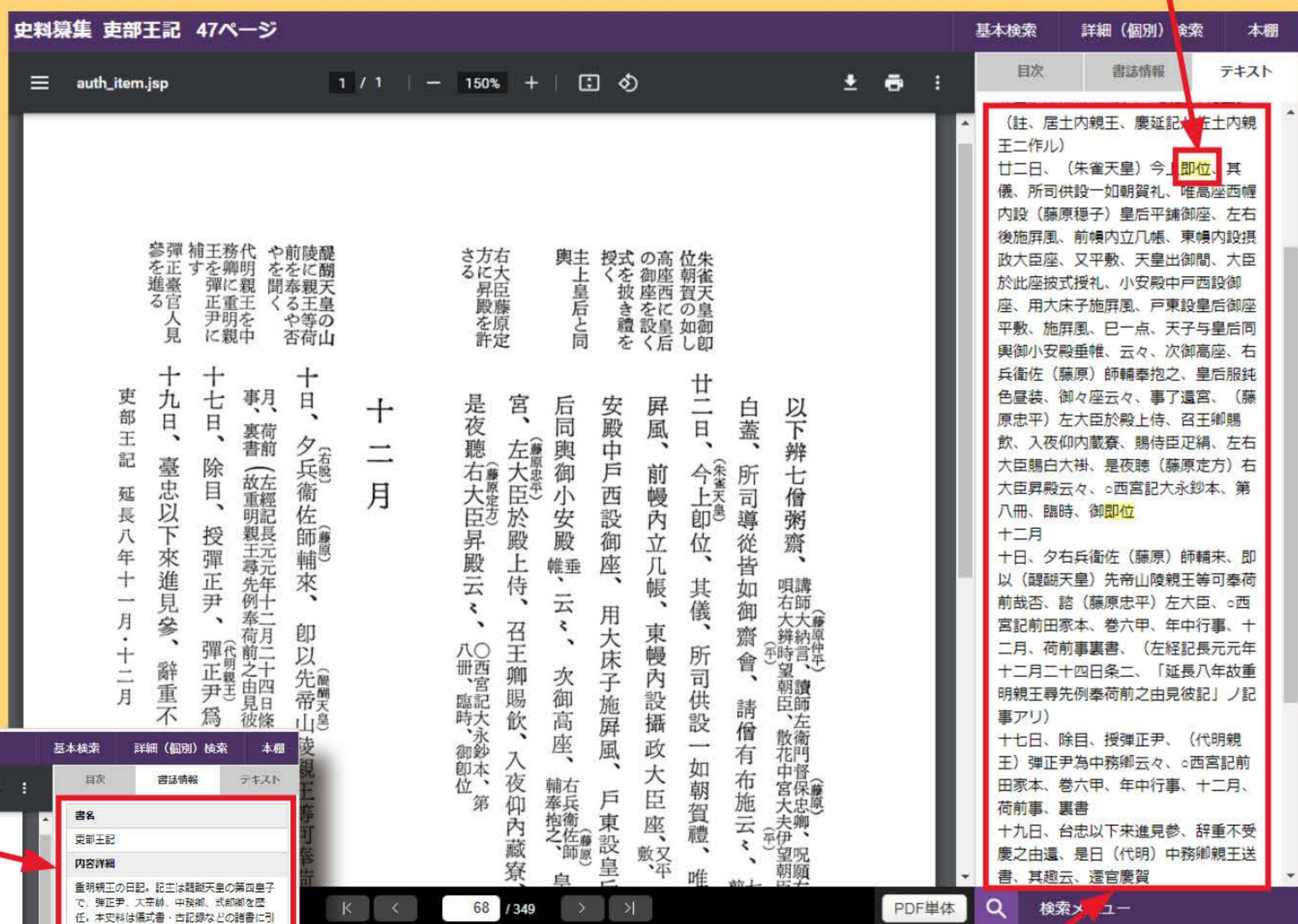
例) 「即位」で全文検索、417件ヒット。
→時代区分「鎌倉」で絞り込むと70件に！



ステップ③ 紙面・テキスト表示

検索結果一覧で記事をクリックすると、左側に史料募集の紙面画像が表示されます。画面の拡大・縮小、頁単位での印刷も可能です。

右側には本文テキストデータを表示します。コピー・引用ができ、検索語句はハイライト表示され便利です。タブを切り替えることで目次／書誌情報を表示することもできます。



注目ポイント
タブを切り替え、目次や書誌情報を表示！

注目ポイント
テキストデータは本文／標出ごとに掲示。コピー・引用が可能！！

